

# 後発医薬品使用体制加算に関する院内掲示

～当院は後発薬品使用体制加算を算定しております～



## 内 用 薬

\_\_\_\_\_ さま 1日 回 日分

### 後発医薬品とは？

後発医薬品(ジェネリック医薬品とも呼ばれます。)とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効果をもつ医薬品のことです。先発医薬品より安価で、効き目や安全性は先発医薬品と同等です。

- ★ 医薬品の供給が不足した場合に、医薬品の処方等の変更等に関して適切な対応が出来る体制を整えております。
- ★ 医薬品の供給状況によって投与する薬剤が変更となる可能性があります、その際には患者様にご説明いたします。



医療法人社団 翔嶺館  
音更宏明館病院

# 厚生労働省の定める掲示事項

当院は、厚生労働省の定める基準に基づいて診療を行っている保険医療機関です。

## 【医療情報取得加算】

- ・当院ではオンライン資格確認を行う体制を有しています。
- ・受診歴、薬剤情報、特定健診情報その他必要な診療情報を取得・活用して診療を行います。
- ・マイナンバーカードの利用にご協力をお願いいたします。

## 【医療DX推進体制整備加算・在宅医療DX情報活用加算】

- ・オンライン請求を行っています。
- ・マイナンバーカードの健康保険証利用の使用について、声掛け・ポスター掲示を行っています。
- ・質の高い診療を実施するための十分な情報を取得し、及び活用して医療の提供に努めています。
- ・電子処方箋及び電子カルテ情報共有サービスに関しては、現在準備中です。

## 【一般名称での処方】

- ・後発医薬品（ジェネリック医薬品）がある薬については、説明の上、一般名（有効成分の名称）で処方する場合があります。

## 【長期収載品の選定療養】

- ・令和6年10月より後発医薬品（ジェネリック医薬品）がある薬で、医療上の必要性があると認められず、患者様の希望で先発医薬品を処方した場合、自費になります。
- ※長期収載品：後発医薬品のある先発医薬品のことです。

## 【生活習慣病管理料（Ⅰ）・（Ⅱ）】

- ・患者さまの状態に応じ、28日以上 of 長期の投薬を行うこと、又はリフィル処方箋を交付することについて、当該対応が可能です。

## 【情報通信機器を用いた診療】

- ・情報通信機器を用いた診療の初診の場合、向精神薬の処方はいえませんが、ご了承ください。

## 入退院支援加算 1 についての掲示

当院では、患者様が安心して退院し、地域での生活を継続できるよう、入院早期から退院支援を行っております。

退院支援を担う部門を院内に設置し、専従の看護師または社会福祉士を配置しています。各病棟にも専任の退院支援担当者を配置し、退院困難な患者様に対して適切な支援を提供しています。

### 【支援体制の概要】

退院支援担当職員的主要業務

- ・退院支援計画の策定
- ・退院に係る問題点や課題の抽出
- ・退院へ向けた目標設定と支援
- ・退院後の介護サービス導入の支援
- ・転院先の保険医療機関との連絡調整

※退院後の介護サービスの利用など、退院支援に係ることについては、お気軽に病棟担当者にお問い合わせください。

### 【入退院支援担当者】

2階病棟(障害者病棟/地域包括ケア病床)	一條 睦美(看護師)
3階病棟(療養病棟)	吉岡 抄子(看護師)
4階病棟(療養病棟)	吉岡 抄子(看護師)



医療法人社団 翔嶺館 音更宏明館病院

北海道河東郡音更町木野大通東 17 丁目 1 番 6 号

0155-32-3311

## 厚生労働大臣が定める掲示事項について

### (1) 入院基本料に関する事項

当院は入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策、意思決定支援、身体的拘束最小化に関する基準を満たしています。

#### 【2階病棟】

○障害者施設等入院基本料（10対1）

- 重度の肢体不自由者、脊髄損傷等の重度障害者、重度の意識障害者、筋ジストロフィー患者、難病患者さま等が7割以上入院している一般病棟です。
- 1日に17人以上の看護職員（看護師及び准看護師）が勤務しています。  
朝8時45分～夕方17時15分まで、看護職員の1人当たりの受け持ち数は5人以内です。  
夕方17時15分～朝8時45分まで、看護職員の1人当たりの受け持ち数は18人以内です。

#### 【3・4階病棟】

○療養病棟入院基本料1（20対1）（医療区分2・3 8割以上）

- 入院患者さま20人に対して看護職員（看護師及び准看護師）及び看護補助職員が、1人以上配置されている病棟です。
- 1日に9人以上の看護職員・看護補助職員が勤務しています。  
朝8時45分～夕方17時15分まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は12人以内、看護補助職員1人当たりの受け持ち数は9人以内です。  
夕方17時15分～朝8時45分まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は30人以内、看護補助職員1人当たりの受け持ち数は60人以内です。

### (2) 入院時食事療養及び入院時生活療養の算定に関する事項

○当院は入院時食事療養（I）・入院時生活療養（I）に関する届出を行っています。

- 管理栄養士によって管理された食事を適時（夕食については午後6時以降）、適温で提供させて頂いています。（個々の患者さまの病状に応じた提供）
- 病状により医師の発行する食事箋に基づき、適切な特別食を提供させて頂いております。
- 食事療養の内容について毎月1回、医師を含むスタッフにて給食委員会を開催し検討しています。

### (3) 特別の療養環境の提供に関する事項

○特別の料金を設定している病室（消費税込）

（個室） 223号室、225号室 ～ 1日につき5,500円

（個室） 222号室、226号室 ～ 1日につき4,400円

（個室） 401号室、402号室、301号室、  
302号室、227号室、228号室 ～ 1日につき3,300円

（個室） 205号室、206号室 ～ 1日につき1,100円

（2床室） 421号室、321号室、220号室、221号室 ～ 1日につき550円

○当院では次の事項について、実費負担をお願いしています。

項 目	料金(消費税込)
入院証明書、診断書	5,500 円
当院書式診断書	1,650 円
健康診断書	1,650 円
身体障害者診断書	7,700 円
障害年金診断書	5,500 円
当院書式死亡診断書	4,400 円
生命保険死亡診断書	7,700 円
領収証明書	1,100 円
入院時備品	500 円
病衣	100 円
入浴一式	300 円
タオル一式	300 円
テレビ(1日)	200 円
冷蔵庫(1日)	50 円
歯ブラシ	50 円
くるリーナ	400 円
歯磨き粉	100 円
コップ	120 円
小物入れ(レンタル品)	100 円
洗濯物入れ(レンタル品)	200 円
シャンプー(1回)	25 円
ボディーソープ(1回)	25 円

項目	料金(消費税込)
バスタオル	150 円
タオル	150 円
おしぼりタオル	50 円
ティッシュペーパー	70 円
テープ止めタイプ S	110 円
テープ止めタイプ M	110 円
テープ止めタイプ L	121 円
テープ止めタイプ LL	132 円
薄型さらさらパンツ M-L	88 円
薄型さらさらパンツ L-LL	99 円
パッド (昼安心通気)	44 円
パッド (夜 1 枚安心)	55 円
パッド (夜 1 枚特に多い)	77 円
パッド (夜 1 枚 10 回吸収)	88 円
パッド (夜 1 枚 12 回吸収)	99 円
シート (メディマット 3345)	33 円
肺炎球菌ワクチン	8,030 円
麻疹風疹混合ワクチン (要予約)	9,680 円
带状疱疹ワクチン (生ワクチン) (要予約)	8,935 円
带状疱疹ワクチン (不活化ワクチン) (要予約)	23,100 円
A 型肝炎ワクチン (要予約)	5,100 円
B 型肝炎ワクチン (要予約)	2,960 円

(4) 北海道厚生局長への届出を行なっている事項

<p>○情報通信機器に用いた診療（情報通信） 第380号</p> <p>○医療DX推進体制整備加算（医療DX） 第409号</p> <p>○療養病棟入院基本料（療養入院）第3275号</p> <p>○障害者施設等入院基本料（障害入院）第941号</p> <p>○診療録管理体制加算3（診療録3）第332号</p> <p>○特殊疾患入院施設管理加算（特施）第806号</p> <p>○療養病棟療養環境加算1（療養1）第604号</p> <p>○後発医薬品使用体制加算2（後発使2） 第264号</p> <p>○データ提出加算（データ提）第387号</p> <p>○入退院支援加算（入退支）第241767号</p> <p>○認知症ケア加算2（認ケア）第837号</p> <p>○地域包括ケア入院管理料1（地包ケア1） 第463号</p> <p>○入院時食事療養／生活療養（I） （食）第1817号</p> <p>○糖尿病合併症管理料（糖管）第189号</p> <p>○薬剤管理指導料（薬）第962号</p> <p>○医療機器安全管理料1（機安1）第237号</p> <p>○別添1の「第14の2」の1の(3)に規定する在宅療養支援病院（支援病3）第117号</p> <p>○在宅患者訪問診療料（I）の注13及び歯科訪問診療料の注20に規定する在宅医療DX情報活用加算（在宅DX）第64号</p>	<p>○在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料（在医総管1）第755号</p> <p>○検体検査管理加算（II）（検II）第306号</p> <p>○CT撮影及びMRI撮影（C・M） 第130451号</p> <p>○無菌製剤処理料（菌）第333号</p> <p>○脳血管疾患等リハビリテーション料（I） （脳I）第571号</p> <p>○運動器リハビリテーション料（I） （運I）第767号</p> <p>○呼吸器リハビリテーション料（I） （呼I）第521号</p> <p>○人工腎臓（人工腎臓）第210号</p> <p>○導入期加算1（導入1）第168号</p> <p>○透析液水質確保加算（透析水）第167号</p> <p>○ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 （ペ）第330号</p> <p>○医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術（胃瘻造）第141号</p> <p>○輸血管理料II（輸血II）第178号</p> <p>○胃瘻造設時嚥下機能評価加算 （胃瘻造嚥）第71号</p> <p>○外来・在宅ベースアップ評価料（I）（外在ベI） 第921号</p> <p>○入院ベースアップ評価料25（入ベ25）第7号</p> <p>○酸素の購入単価（酸単）第45264号</p>
---	--

※ご不明な点がございましたら、1階医事課窓口まで、ご相談ください。

## 音更宏明館病院 施設基準一覧

令和7年10月1日現在

No	受理番号	名称	算定開始年月日
1	(情報通信)第380号	情報通信機器を用いた診療に係る基準	令和6年1月1日
2	(医療DX)第409号	医療DX推進体制整備加算	令和6年6月1日
3	(療養入院)第3275号	療養病棟入院基本料1	令和7年2月1日
4	(障害入院)第941号	障害者施設等入院基本料10対1	令和7年9月1日
5	(診療録3)第332号	診療録管理体制加算3	平成26年12月1日
6	(特施)第806号	特殊疾患入院施設管理加算	令和7年9月1日
7	(療養1)第604号	療養病棟療養環境加算1	令和7年2月1日
8	(後発使2)第264号	後発医薬品使用体制加算2	令和4年4月1日
9	(データ提)第387号	データ提出加算	平成30年4月1日
10	(入退支)第241767号	入退院支援加算1	令和7年9月1日
11	(認ケア)第837号	認知症ケア加算2	令和5年12月1日
12	(地包ケア1)第464号	地域包括ケア入院医療管理料1	令和7年9月1日
12	(食)第1817号	入院時食事療養／生活療養(Ⅰ)	平成26年4月1日
13	(糖管)第189号	糖尿病合併症管理料	平成28年5月1日
14	(薬)第962号	薬剤管理指導料	平成26年4月1日
15	(機安1)第237号	医療機器安全管理料1	平成26年4月1日
16	(支援病3)第117号	別添1の「第14の2」の1の(3)に規定する在宅療養支援病院	令和4年4月1日
17	(在宅DX)第64号	在宅医療DX情報活用加算	令和6年6月1日
18	(在医総管1)第755号	在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料	平成26年4月1日
19	(検Ⅱ)第306号	検体検査管理加算(Ⅱ)	令和6年4月1日
20	(C・M)第130451号	CT撮影及びMRI撮影	令和4年3月1日
21	(菌)第333号	無菌製剤処理料	平成26年4月1日
22	(脳Ⅰ)第571号	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	令和7年7月1日
23	(運Ⅰ)第767号	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	平成30年7月1日
24	(呼Ⅰ)第521号	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	平成30年4月1日
25	(人工腎臓)第210号	人工腎臓	平成30年4月1日
26	(導入1)第168号	導入期加算1	平成30年4月1日
27	(透析水)第167号	透析液水質確保加算	平成26年4月1日
28	(ペ)第330号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成26年4月1日
29	(胃瘻造)第141号	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	平成26年4月1日
30	(輸血Ⅱ)第178号	輸血管理料Ⅱ	平成29年1月1日
31	(胃瘻造嚥)第71号	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成26年4月1日
32	(外在ベⅠ)第921号	外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)	令和6年6月1日
33	(入ベ25)第7号	入院ベースアップ評価料25	令和6年10月1日
34	(酸単)第45264号	酸素の購入単価	令和7年4月1日

## 「個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書」の発行について

当院では、医療の透明化や患者様及びそのご家族様への情報提供を積極的に推進していく観点から、平成22年4月1日より、領収書の発行の際に個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行することと致しました。

明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点ご理解いただき、ご家族の方が代理で会計を行う場合のその代理の方への発行も含めて、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨お申し出下さい。

なお、公費負担医療受給の方で、自己負担のない方に関しましても同様の取り扱いとなりますので、会計窓口にてお申し出ください。

医療法人社団翔嶺館 音更宏明館病院

病 院 長

平成22年4月1日 作成  
令和7年2月1日 改訂

手術の通則の5及び6により掲示が求められている手術の術式別手術件数（令和6年1月～12月）

区分1に分類される手術		件数	
ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	頭蓋内腫瘍摘出術、経鼻的下垂体腫瘍摘出術、脳動脈瘤被包術、脳動脈瘤流入血管クリッピング、脳動脈瘤頸部クリッピング、広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術、機能的定位脳手術、顕微鏡使用によるてんかん手術、脳刺激装置植込術及び頭蓋内電極植込術、脊髄刺激装置埋め込術及び脳神経手術（開頭して行うもの）	0件
イ	黄斑下手術等	黄斑下手術、硝子体茎頭微鏡下離断術、増殖性硝子体網膜症手術、眼窩内腫瘍摘出術（表在性・深在性）、眼窩悪性腫瘍手術、眼窩内異物除去術（表在性・深在性）、眼筋移動術、毛様体腫瘍切除術及び脈絡膜腫瘍切除術	0件
ウ	鼓室形成手術等	鼓室形成術、内耳窓閉鎖術、経耳的聴神経腫瘍摘出術、経迷路的耳道開放術	0件
エ	肺悪性腫瘍手術等	肺悪性腫瘍手術、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術、肺切除術、胸壁悪性腫瘍摘出術、膿胸胸膜、胸膜肺切除術（通常のものと同胸腔鏡下のもの）、胸膜外肺剥皮術、胸腔鏡下膿胸腔搔爬術、膿胸腔有茎筋肉弁充填術、胸郭形成手術（膿胸手術の場合）、気管支形成手術	0件
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	経皮的カテーテル心筋焼灼術	0件

区分2に分類される手術		件数	
ア	靭帯断裂形成手術等	靭帯断裂形成手術（関節鏡下によるものを含む）、観血的関節授動術、骨悪性腫瘍手術、脊椎・骨盤悪性腫瘍手術	0件
イ	水頭症手術等	水頭症手術、髄液シャント抜去術、脳血管内手術、経皮的脳血管形成術	0件
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	涙嚢鼻腔吻合術、鼻副鼻腔悪性腫瘍手術及び上咽頭悪性腫瘍手術	0件
エ	尿道形成手術等	経皮的尿路結石除去術、膀胱単純摘除術及び膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術を除く）、尿道形成手術、尿道下裂形成手術、陰茎形成術、前立腺悪性腫瘍手術、尿道上裂形成手術、経皮的盂腫瘍切除術	0件
オ	角膜移植術	角膜移植術	0件
カ	肝切除術等	肝切除術、臍体尾部腫瘍切除術、臍頭部腫瘍切除術、骨盤内臓全摘術、胆管悪性腫瘍手術、肝門部悪性腫瘍手術、副腎悪性腫瘍手術	0件
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）、卵管鏡下卵管形成術、陰嚢悪性腫瘍手術、造陰術、陰閉鎖症術（拡張器利用によるものを除く）及び女子外性器悪性腫瘍手術	0件

区分3に分類される手術		件数	
ア	上顎骨形成術等	顔面神経麻痺形成手術、上顎骨形成術、頬骨変形治療骨折矯正術及び顔面多発骨折観血的手術	0件
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	耳下腺悪性腫瘍手術、上顎骨悪性腫瘍手術、喉頭・下咽頭悪性腫瘍手術、舌悪性腫瘍手術、口腔・顎・顔面悪性腫瘍切除術	0件
ウ	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	0件
エ	母指化手術等	自家遊離複合組織移植術（顕微鏡下血管柄付きのもの）、神経血管柄付植皮術（手・足）、母指化手術及び指移植手術	0件
オ	内反足手術等	内反足手術、先天性気管狭窄症手術	0件
カ	食道切除再建術等	食道切除再建術、食道腫瘍摘出手術（開胸又は開腹手術によるもの、腹腔鏡下・縦隔鏡下・胸腔鏡下によるもの）、食道悪性腫瘍手術（単に切除のみのもの・消化管再建手術を併施するもの）、食道切除後2次的再建術、食道裂孔ヘルニア手術及び腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術	0件
キ	同種腎移植術等	移植用腎採取術（生体）、腹腔鏡下移植用腎採取術（生体）、同種死体腎移植術及び生体腎移植術	0件

区分4に分類される手術		件数
		0件

その他の手術		件数
人工関節置換術		0件
乳児外科施設基準対象手術	1歳未満の乳児に対する先天性食道閉鎖症根治手術、胸腔裂孔ヘルニア手術、単心室症、三尖弁閉鎖症手術（心室中隔造成術）、大血管転位症手術、鎖肛手術（仙骨会陰式及び腹会陰式並びに腹仙骨式）、左心低形成症候群手術（ノルウッド手術）、先天性胆道閉鎖症手術、肝切除術、仙尾部奇形腫手術、副腎悪性腫瘍手術及び腎（尿管）悪性腫瘍手術	0件
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（電池交換含む）		0件
冠動脈、大動脈バイパス移植術及び体外循環を要する手術		0件
経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術、経皮的冠動脈ステント留置術		0件